

主要国の現状を踏まえた アフリカビジネスの課題と進出における留意点

～アフリカの特異性、主要国の現地法務、コンプライアンス対応のリスクと対応策～

●日 時● 2016年 3月 22日(火) 13:30～17:00

●会 場● 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

●講 師● 西村あさひ法律事務所

弁護士/ニューヨーク州弁護士 中山 龍太郎 氏

【略歴】東京大学法学部、同大学院法学政治学研究科修士、ニューヨーク大学ロースクールLL.M.コース各卒業及び修了。1999年弁護士登録。新日本製鐵・住友金属統合はじめ著名M&A案件を数多く手がける。近時は官民共同ミッションへの参加を含め精力的にアフリカ現地を訪問し、現地法務情報の収集・発信に努める。
【著書】「条解 独占禁止法」(弘文堂)、「アフリカ法務の基礎(I)～(VII)」(商事法務)その他多数。

◆開催にあたって

近年アフリカは「最後のフロンティア」としてその成長が期待されています。しかしアフリカと一口に言っても、各国の産業構造や発展段階、政治体制の違いから、その状況は様々です。今後、日本企業がアフリカに進出するにあたり、各主要国の状況を踏まえた上で、進出戦略を考える必要があります。

本セミナーでは、アフリカの現状と今後のビジネス展開におけるポイントを踏まえた上で、各主要国の現地法務、進出のポイントや、アフリカ共通のリスク、ゲートウェイ選択の際考慮すべきポイントについて、実際にアフリカでのご経験豊富な講師の方が事例を交え解説致します。

《詳細は裏面をご覧ください》

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	29,160円	本体価格 27,000円
一般	32,400円	本体価格 30,000円

●申込書をFAXいただくか、当会ホームページよりお申込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXで送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●よくあるご質問(FAQ)については当会ホームページでご確認いただけます。(〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕)

●お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願いいたします。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会

担当：田中 E-mail a-tanaka@bri.or.jp
〒102-0083
東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F
TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ(<http://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます。

151712-0309(※)		2016.3.22	
[申込書]アフリカビジネスの課題と進出における留意点			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

主要国の現状を踏まえた

アフリカビジネスの課題と進出における留意点

～アフリカの特異性、主要国の現地法務、コンプライアンス対応のリスクと対応策～

● プログラム ●

■講師 西村あさひ法律事務所弁護士 ニューヨーク州弁護士 中山 龍太郎 氏

- 解説 -
13:30

- I. はじめに～世界の注目を集めるアフリカ
- II. 日本とアフリカの関わり
 - (1) TICAD V (2013年6月)とTICAD VI (2016年8月)
 - (2) アフリカに進出する日本企業の現状とM&A情報
 - (3) 分野で見る日本企業にとってのビジネスチャンス
- III. アフリカの特異性と課題
 - (1) 地域(言語圏)と法体系
 - (2) 地域経済圏の重要性
 - (3) アフリカの課題
- IV. 南部アフリカ諸国
 - (1) 南アフリカの概要と進出のポイント
 - ・ BEE制度の押さえておくべきポイント
 - ・ 労使紛争、競争法における留意点
 - (2) モザンビークの概要と進出のポイント
- V. 東部アフリカの諸国
 - (1) ケニアの概要と進出のポイント
 - (2) エチオピアの概要と経済的特徴
 - (3) タンザニアの概要と経済的特徴
 - (4) 押さえておくべき地域間経済統合の進捗～EAC、COMESAについて
- VI. 中西部アフリカ諸国
 - (1) 中西部アフリカの特徴と日本企業進出の現状
 - (2) ナイジェリアの概要と進出のポイント
 - ・ 進出形態におけるポイント
 - ・ 留意すべき経済的問題
 - (3) コートジボワールの概要と進出のポイント
 - (4) ガーナの概要と進出のポイント
 - (5) OHADA(商事法統一化機構)による法統合
 - (6) 中西部アフリカにおける通貨統合
 - ・ CFAフラン圏/西アフリカ通貨圏(WAMZ)
- VI. 最後に～可能性の大陸アフリカ
 - (1) アフリカ共通のリスク
 - (2) ゲートウェイ選択の際考慮すべきポイント
 - (3) コンプライアンス対応の現状とリスク

17:00

※講師とご同業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。